

組合員 各位

埼玉県電気工事工業組合
理事長 佐藤 隆行
(公印省略)

認定訓練「高圧ケーブル技能認定コース」の受講者の募集について

日頃より組合活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、業務における安全確保と技能向上を目的として、令和8年度「高圧ケーブル技能認定コース」の受講者を募集いたします。

本コースは、高圧受電設備規程(JEAC8011)「付録 東京電力株式会社サービスエリア内」「2. 工事の施工」で要求される工事施工者の技能を修得するための講習会で、所定の技能の修了者には認定証を交付します。

(認定証には、5年の有効期限が設けられています。有効期限後も引き続き認定証を継続する場合は更新のための講習を受けていただく必要がございます。)

下記のとおり実施いたしますので、この講習会をとおして、高圧ケーブル工事について正しい知識・技術を修得されますようご案内申し上げます。

記

- | | |
|--------|---|
| 1 実施日時 | 第1回：12月1日(火)・2日(水) 9:00～17:00 2日間
第2回：12月3日(木)・4日(金) 9:00～17:00 2日間 |
| | *遅刻・早退された場合、修了要件を満たせず認定証を発行できない場合がございます。 |
| 2 場 所 | 埼玉電気会館(埼玉県さいたま市北区植竹町1-820-6) |
| 3 講 師 | (一社)日本電気協会 関東支部からの派遣講師 |
| 4 定 員 | 各回24名(1グループ3名)限定 先着順 |
| 5 訓練内容 | 別紙「高圧ケーブル技能認定コース」カリキュラムのとおり |
| 6 講習料 | 42,350円(税込)(参加料:39,600円・テキスト代:2,750円) |
| | ・開催決定後、事業所様宛の請求書を送信いたします。お早めのお振込をお願いいたします。 |
| | ・領収書は、講習終了後に受講者様にお渡しいたします。 |
| | ・請求書、領収書の宛名は、いずれも事業所様宛となります。予めご了承ください。 |
| 7 申込期限 | 11月5日(木)(開催のご連絡は、締切後3営業日までにご案内いたします。) |
| 8 申込方法 | google フォームよりお申込み 下記記載のURL かQRコードからお申込み
URL: https://forms.gle/xD9UPwAK8fshb97K8
googleフォームからお申込みができない方は、申込み用紙をFAXいたしますので、下記連絡先までご連絡ください。 |
| 9 受講資格 | 満18歳以上
講習会受講時点で下記資格を有する者である事が条件となります。 |
| | (1) 第一種電気工事士免状取得者
ア 第一種電気工事士免状を取得している者
イ 第一種電気工事士免状を取得し5年以内ごとの定期講習会を受講している者 |
| | (2) 第二種電気工事士免状取得後5年以上の工事経験を有する者 |
| 10 その他 | (1) 受講希望人数が少数の場合、講習が中止となることがあります。
(2) 期限前に締め切る可能性がありますのでお早めにお申込ください。
(3) 受講人数が15名以下の場合等、一方の日程に移って頂くことがありますので予めご了承ください。
(4) 組合主催の講習では受講票の発送は行っておりません。直接受講日にお越しください。
(5) 法定教育のため、遅刻者は受講できませんので、予めご了承ください。
(6) 昼食は、事前にご自分でご用意をお願いいたします。
(7) お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。当組合の駐車場は、ご利用できません。
(8) 申込期限を過ぎてからのキャンセルはご遠慮ください。
※ キャンセルが発生した場合、講習料の返金はありません。ご了承ください。
※ 開催決定の場合、別途(一社)日本電気協会 専用申込書の提出があります。 |



添付書類：別紙「高圧ケーブル技能認定コース」カリキュラム

添付書類：高圧ケーブル工事技能認定講習携行品 解説

連絡先：事務局：菊地 TEL：048-663-0242 FAX：048-663-0298

保管期間：1年

「高圧ケーブル技能認定コース」カリキュラム

実施時間	法定訓練 時間	区分 (学科・実技)	訓練内容
1日目 9:00～12:00	3	学科	・ ケーブル端末の説明 ・ 端末材料の使用区分 ・ 装柱、埋没の説明 ・ 耐塩、端末材料の説明
1日目 13:00～17:00	4	実技	・ 耐塩端末の実技
2日目 9:00～17:00	7	実技	・ 屋外端末差込実技 ・ 屋内端末差込実技

携行品は次の通りです。

別添「高圧ケーブル工事技能認定講習携行品 解説」をご参照ください。

ペンチ・ニッパ・電工ナイフ・ハサミ・焼ゴテ・ドライバー・トーチランプ（ガストーチ可）・布ヤスリ（100番程度）・スケール・ウエス・ノギス・金ノコ・甲丸ヤスリ・ビニールテープ・洗浄剤（エタノール・ベンジン等）・ウエス・油圧式または手動圧着器（38口）・マーカーペン（白色）・筆記具・ノート

＊焼ゴテ、トーチ・ランプは、はんだ処理に使用します。携帯用のガス式でも代用は可能です。

＊圧着器は38スケアの端子を圧着しますので、手動式のものでも使用できます。

（JISC9711に規定されているもの）

ご注意！

●電気ごて、カッターナイフは使用不可

●作業服、手袋、作業靴の着用厳守

※ 床に直に座っての作業となります。長時間座っての作業がづらい方は、折り畳みの椅子をご持参していただいても構いません。

※ 実技の場所は、1Fの技術訓練場となります。会場は、外気と同じくらい寒さがございます。作業着等は、暖かい服装など準備をしてお越しください。

高圧ケーブル工事技能認定講習携行品 解説

携行品 名称	解説	注意事項	
ペンチ・ドライバー 電工ナイフ・ニッパ スケール(巻尺)	電気工事の基本工具です。必ず一人ひとりでご準備下さい。	・カッターナイフは使用不可です!! ・電工ナイフの手入れをお願いします。(切れないナイフは怪我のもとです) ・ケーブルシースや絶縁体は固いものです。必ず保護用(切創防止)の手袋で作業願います。(安全の配慮は認定の評価項目です。)	個人装備
ハサミ	普通のハサミをご準備下さい。ビニールテープ、紙テープを切るのに使用します。		個人装備
焼ゴテ+トーチランプ (ガストーチ可)	・ケーブルの遮蔽層に接地線をはんだ付けするのに使用します。 ・会場では電気こては使用できません。 ・最近では、携帯用のガス式はんだこてを利用する方が多くなっています。	・やきごて本体は、重さ500g程度、長さ30～40cmのものが使いやすいです。(ネット価格で6,000円程度) ・トーチは家庭用のガストーチでも構いません。 ・携帯用ガス式はんだこてを使用する場合は、電気こて換算で200W相当のものでなければ、うまく施工できません。また、コテ先は円錐タイプでなく、平たくなっているものをご準備下さい。(商品名では「コテライザー150オート」(ネット価格で14,000円前後))	グループや友人と参加する場合は2～3人で共有可
布ヤスリ(100番程度)	・絶縁テープをケーブルシースに密着させるため、ケーブルシースの表面をやすり掛けします。	・紙やすりでも使用できますが、作業性が悪いので、布やすりをご準備下さい。	個人装備
ノギス	・絶縁テープが規程通り巻かれているか、外径を計りながら作業します。	・小さいものでは、外径を計れません。長さが20～30cm程度のものをご準備下さい。	グループや友人と参加する場合は2～3人で共有可
金ノコ	・ケーブルの切断(仕上げの寸法取り時)に使用します。ケーブルカッターは導体を押して切るためつぶれやすく使用できません。		個人装備
甲丸ヤスリ(金ヤスリ)	・ふつうの金ヤスリで構いません。導体先端部の面取り(バリ取り)に使います。		個人装備
ビニルテープ	・一般に使用するビニル絶縁テープです。マーキングや仮止めに使います。	・黒色はシースとの見分けがつきにくいので、できれば避けて下さい。	個人装備
洗浄剤(無水エタノール・ベンジン等)・	・絶縁体等の清掃に使います。	・無水エタノールを推奨しますが、ベンジンでも構いません。ともに薬局で売ってます。(無水エタノールで600～700円、ベンジンで150～300円 100ccもあれば十分です) ・中性洗剤は使用できません。 ・シンナーやラッカーの薄め液は、絶縁体を痛めるので厳禁です。	個人装備
ウエス	紙タイプは電気工事用のもの以外は避けて下さい。(布 推奨)		個人装備
油圧式または手動圧着器(38口)	・屋内端末の導管端子38sqを圧着します。 手動式でも油圧式・電動式でも構いません。		グループや友人と参加する場合は2～3人で共有可
マーカーペン(白色)	・ケーブルシース等の寸法取りをする時のマーカーです。	・絶縁体等にマーキングするときは、必ず剥ぎ取る位置に行い、マークが絶縁体に残らないようにします。(厳守)	個人装備
ノート筆記用具(確認試験があります)	・ボールペンでも鉛筆でも構いません。筆記試験があります。		個人装備

○その他必要と思われるもの→傷薬、絆創膏、保険証、ごみ袋 ※講習中ナイフ等による怪我は全て自己負担です

※本講習は、基本的事項をしっかりと身に付けるための講習です。講師の説明をよく守り確実な技能を身に付けて下さい。